

平成 20 年 5 月 22 日

各 位

会 社 名 テクニカル電子株式会社

代表者の役職名 取締役社長 代表執行役員 早川 義 彰

(JASDAQ・コード番号：6716)

問 合 せ 先 経理部 部長 八子 将

T E L 03 - 3762 - 5152

平成 20 年 3 月期通期 (連結・単独) 業績予想の修正及び特別損失発生に関するお知らせ

平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 20 年 1 月 18 日付当社の「業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ」および、平成 20 年 2 月 13 日付当社の「平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況」にて発表致しました業績予想を下記のとおり修正致します。

1. 平成 20 年 3 月期 連結業績予想の修正

(1) 通期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	8,000	350	250	192
今回修正 (B)	8,328	314	239	344
増減額 (B - A)	328	36	11	152
増 減 率	4.1%	10.3%	4.4%	

(2) 修正理由

売上高は、駐車場関連事業が、ガソリン価格の高騰による自動車使用の手控えに影響を受け、直営駐車場の稼働率が悪化したことや、改正建築基準法によって厳格化された確認審査により建築順延が生じ、立体駐車場や集合住宅向けの駐車場管理機器の販売が鈍化したことなどから低調に推移したものの、電子機器部品事業が、電子精密部品の製造販売の子会社 (EPE (Thailand) Co., LTD.) が好調であったことから予想を上回る見込であります。しかしながら、収益面に関しましては駐車場関連事業の収益が悪化したことなどから、営業利益と経常利益は予想を下回る予定であります。また当期純利益は、日飛電子精機(株)との合併により棚卸資産を精査した結果、特別損失として棚卸資産評価損を 59 百万円計上したことや、計画に対し業績が悪化したことなどにより繰延税金資産を取崩し法人税等調整額を 68 百万円計上したことなどから予想を大幅に下回る予定であります。

(3) ご参考：前期の実績 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通 期	8,753	561	461	263

2. 平成20年3月期 単独業績予想の修正

(1) 通期の業績予想(平成19年4月1日~平成20年3月31日)の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	5,800	130	100	332
今回修正 (B)	5,677	126	50	483
増減額 (B - A)	123	4	50	151
増減率	2.1%	3.1%	50.0%	

(2) 修正理由

売上高は、電子機器部品事業が、ほぼ計画通りに推移したものの、駐車場関連事業が、ガソリン価格の高騰による自動車使用の手控えに影響を受け、直営駐車場の稼働率が悪化したことや、改正建築基準法によって厳格化された確認審査により建築順延が生じ、立体駐車場や集合住宅向けの駐車場管理機器の販売が鈍化したことなどから予想を下回る見込であります。収益面に関しましても駐車場関連事業の収益が悪化したことなどから、営業利益と経常利益は予想を下回る予定であります。また当期純利益は、日飛電子精機株との合併により棚卸資産を精査した結果、特別損失として棚卸資産評価損を59百万円計上したことや、計画に対し業績が悪化したことなどにより繰延税金資産を取崩し法人税等調整額を56百万円計上したことなどから予想を大幅に下回る予定であります。

(3) ご参考: 前期の実績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通 期	5,544	307	240	120

以上